

1. 教科科目使用教材等

教科	地歴公民科	科目	日本史B	単位	2	学年	3学年	学科	理数科	教科書：『詳説日本史B』（山川出版社） 副教材：『新詳日本史』・ゼミナル日本史
----	-------	----	------	----	---	----	-----	----	-----	--

2. 学習目標及び評価ポイント

学習の到達目標	評価のポイント
<p>○我が国の歴史と文化の展開を、各時代の国際環境や地理的な条件と関連づけて、理解できるようにします。</p> <p>○学習内容と現代の諸事件や課題等との関連性を常に意識させ、我が国の歴史の基本的な内容を理解した上で、課題を多面的・多角的に考察し、将来にわたって自らの課題を見つけ、自ら考え解決していく力をみにつけます。</p> <p>○視聴覚教材やインターネット等、身近な情報端末を活用しながら歴史的事象に興味・関心が持てるようにします。</p>	<p>【知識・技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>

3. 授業の進め方

- (1)プリントを中心に授業を進めます。次時までプリントつづり用のファイルを準備してください。
- (2)毎時のプリントには復習のためのプリントが添付しています。授業を受けた際には、必ず復習を心がけましょう。
- (3)授業がある日は、その時間の教科書の範囲はなるべく読んでおきましょう。
- (4)章末もしくは節末に小テストを実施する場合があります。

月	配当 時数	単元・教材名	学習内容	評価規準・評価方法	進度
4	5	<p><オリエンテーション> 第7章 幕藩体制の展開</p> <p>1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本史B学習の意味とガイダンス（年間計画一評価など説明） 武断政治から文治政治への転換の理由を多面的に理解する。 農業産業の発展を基盤とする諸産業の発達の諸相と、江戸時代の経済の構造を理解する 元禄文化の諸相を考察し、武士道的倫理観とは異なる庶民の思想を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文治政治への転換における幕府の体制変化と、社会経済の安定化について史料等を用いて多角的に追及している。 【知】 プリント確認 史料集の活用 	
5	8	<p>第3部 第8章 幕藩体制の動揺</p> <p>1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆大きな歴史の流れを解説し歴史の捉え方今面白さについて考える。 商品経済の発展や農民層の分解という幕藩体制の構造的変化（矛盾）に着目し、幕府・諸藩の政治改革の在り方を年貢増徴政策や商業政策を中心に理解する 幕政改革の矛盾と欧米列強の接近及び蘭学・国学など新しい学問の台頭による思想上の変革について理解する。 武士道と庶民文化の特徴を比較し、後者の中に近代的要素を見だし、それが近代への架け橋になったことを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 幕改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。 【知】 プリント確認 小テスト 『新詳日本史』で美術・学問の系統を確認 	
1学期中間考査					
5 6 7	13	<p>第IV部 第9章 近代国家の成立</p> <p>1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外圧と開国の中で幕府政権が倒壊する理由に着目し、近代国家形成の要因について理解する。 明治新政府の諸制度に着目し、この政府が何を指そうとする政府かを考察し、近代日本の特色を理解する。 アジアで初めての立憲国家成立の意義を理解し、世界史全体の構造の中で日本がなぜ大陸進出を行うのか考察する。 日露戦争によって日本が列強の中でどのような立場になり得たのかを理解し、その世界史的意義を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題を見だし、世界史的背景と関連付けて多面的多角的に考察している。 【思】 プリント確認 『新詳日本史』で明治初期の各取り組みを確認 	
1学期期末考査					
9	6	<p>5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア</p> <p>1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近代産業の発達の諸相と労働者の階級の姿に注目し、近代における日本の経済構造の特色を考察する。 学問の発展や教育制度に着目して、日本の近代文化の特色について考察する。 第一次世界大戦の影響と日本の社会について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追及している。 プリント確認 『新詳日本史』の活用 	
2学期中間考査					

月	配 当 時 数	単元・教材名	学 習 内 容	評価規準・評価方法	進 度
10	8	4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> ・協調外交の時代の様相と政党政治について考察する。また慌の中で協調外交の崩壊の過程々日本経済の限界を理解する。 ・満州事変から日中戦争への過程を多面的に考察する。太平洋戦争時の日本の政治経済・軍事を分析し現代政治と比較し「過ちをくり返さない」とはどういうことか考察する。 ・占領政策における民主化・非軍事化の内容を理解し、占領政策の転換がなぜ生じたのか、世界的視野のたつて考察する。 ・サンフランシスコ講和会議の内容と意義を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 ・プリント確認 ・『新詳日本史』の活用 ・課題学習 ・視聴覚教材の活用 『新詳日本史』の活用小テスト 	
11	8	第12章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長へ 第12章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦の終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制がどの様々状況の中で成立したか理解する。高度経済成長の諸相に注目し、成長の原因と限界を理解し、また90年代以降の変化を考察させる。 ・バブル経済など現代に直接つながる経済諸事象を理解する。 ・ソ連の解体と冷戦の終結の意味を理解し、日本の政治・外交に与えた影響を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的多角的に考察している。 プリント確認 課題学習 『新詳日本史』の活用 小テスト 	
2学期期末考査					
12	12	共通テスト試験対策	これまでの学習を振り返り、共通テスト試験対策を行う。	プリント確認	

4. 授業計画

5. 評価の方法：下記の状況と評価の観点に基づいて総合的に判断します。

- (1)定期考査（1学期～2学期の中間・期末テスト）
- (2)課題点【課題・復習プリント・小テスト・提出物の提出】

6. 学習上の留意点

- (1)歴史的なつながりを念頭に、様々な情報【インターネット、TV等】で世界や社会の動きに、関心を持つようにしましょう。
- (2)様々な歴史資料から得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける姿勢を持ち、問題、仮説を立て、資料に基づいて根拠を示したり、検証したりする姿勢を身に着けるようにしましょう
- (3)授業を受ける際には、教科書・資料集など読み込むようにしましょう